



2016 情熱疾走中国総体 高校総体

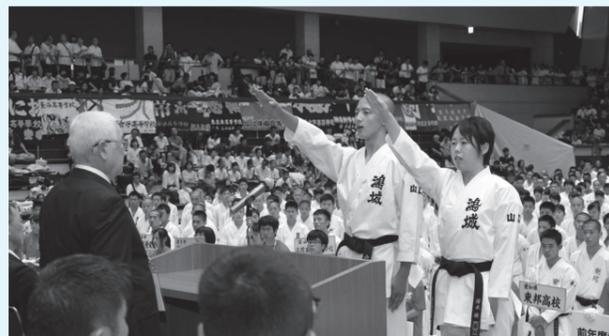
躍動

7月30日(土)から8月2日(火)まで、ながと総合体育館で開催された「平成28年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会」および「第43回全国高等学校空手道選手権大会」。全国47都道府県の代表865人が熱戦を繰り広げました。

大会運営には長門市や萩市、美祢市の高校から約400人の生徒が補助員として参加。選手の誘導や記録、放送案内などさまざまな形で大会運営を支え、他の役員らとともに温かいおもてなしで大会を盛り上げました。



▲予選を勝ち抜いた強者が集い、頂点を目指す



▲山口県選手団による選手宣誓



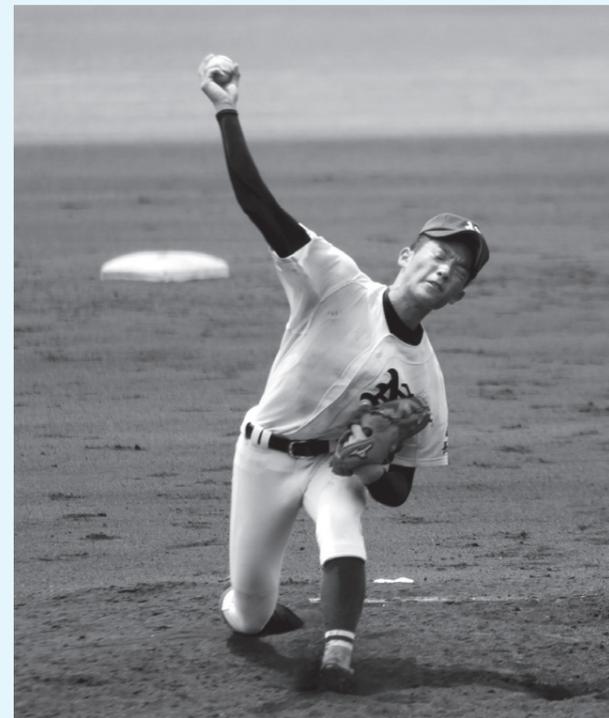
躍進

第98回全国高等学校野球選手権山口大会 創部初ベスト4 長門高校野球部

今年の夏に行われた全国高等学校野球選手権山口大会。長門高校野球部は優勝候補に勝利するなど快進撃を続け、その活躍は市民をはじめ、県内からも熱い視線が注がれました。

創部初の準決勝進出を果たし、最後まで白球を追い、全力を出し尽くした球児たち。準決勝で敗れたものの、その姿にスタンドからは惜しめない拍手が送られていました。

長門市から甲子園へ。市民の期待を一身に背負った球児たちの挑戦は来年に続きます。



▲5試合を1人で投げ抜いた宮崎投手。最後まで全力投球



▲一回戦から全校生徒による応援で選手を激励



▲窪田翔太さん(大津緑洋高)が歓迎あいさつ



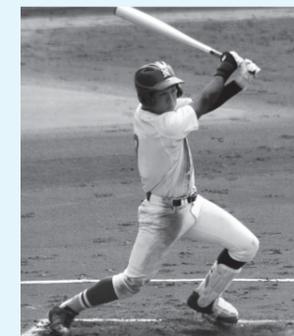
▲放送も市内の高校生が担当



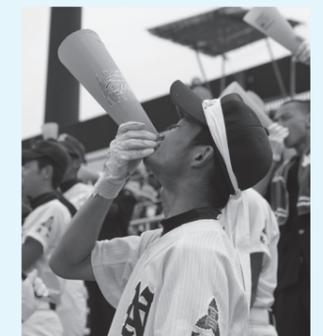
▲プラカードを手に、選手を誘導する高校生スタッフ



▲スタンドが一体となった応援に贈られる「きらり夏賞」を受賞



▲フルスイング!



▲熱い声援、声枯れるまで



▲大技による終盤の逆転も多く見られた相手種目



▲多くの高校生が運営をサポート



▲切れのある形の演技を披露



▲祈るような眼差しで見つめる



▲円陣を組んで気合い注入!



▲エースのもとへ。マウンドに駆け寄るナインたち